

「さらば、放射能！」 ニュース 《NO. 58》 2013/04/01

発行：安全な生活を願う市民の集い (E-mail : chori_msm@ybb.ne.jp / Tel&Fax : 042-725-1898)

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2013/03/31 集計 + オンライン署名増加分 = **8,207,584** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。脱原発の旗を高く掲げて粘り強く呼びかけましょう。

本紙・56号の記事で、3月9日の「さようなら原発・つながろうフクシマ！」集会（東京・明治公園）において、デモ出発時に一人の参加者が逮捕されたとお伝えしました。即日主催者側の3人の弁護士が対応し、3月11日中に釈放となったことをご報告いたします。多くの方々のご支援を感謝します。

フクシマのつむぎを脱けたいよ！

3月23日、福島市で「原発のない福島を！県民大集会」（主催・福島県内の団体・個人による大会実行委員会）が開催され、全国から約七千人が参加。会場には「放射能のない福島を返せ」などと書かれたのぼりが多数立てられ、参加者の切実な訴えで溢れていました。農・林業など各界の代表者が厳しい現状を報告。今月高校を卒業した南相馬市の青年は、家族が山形県と福島県に分かれての避難生活を話し、「至る所にモニタリングポストがあったり、家族がばらばらだったりするのが当たり前になってきているのはおかしい」と、怒りをぶつけました。

以下は、当日の『集会宣言』の一部です

『：(略)：』：今日の前にある生活上の苦境をどう乗り越えるかということもさることながら、今ここにある原発をどうするか、これこそ私たち県民が考えずにはおれない重大問題です。事故を起こし破壊に至った4基の原子炉は、今後起こりうる大地震に果たして耐えるのか、いつ本当に安全な状態に落ち着くのか、それさえまだ分かっていません。事故現場では今日のこの日も、高い放射線を被曝しながら、多くの労働者が作業に従事していることを、私たちは忘れてはなりません。そして問題は第一原発5・6号機、および第二原発の1・4号機の扱いです。県知事と県議会とともに、県内10基の原発すべての廃炉を求めています。これは多くの県民の気持ちを率直に反映したものです。しかし東京電力はこれを受け入れていないどころか、再稼働を当然の前提としているかのようになり、6基の原発の保守管理を進めています。(略)：福島県と地元自治体は確かにかつて原発を誘致した経緯があります。原発の立地と運転による経済的利益があったのも事実です。しかし取り返しつかない今回の大災害の中で、原発を抱え込むことなどのリスクが途方もなく巨大であり、金銭的利益と天秤にかけることは到底できないことを身をもって知りました。原発を誘致したのは間違いだったと、私たちは今はっきりと断言することができます。(略)：「原発のない福島を！」「安心して暮らせる福島を！」これは福島県民の願いであり、心の叫びです。(略)：福島が、しっかりと再生に向けた道を歩むために、原発依存からの脱却＝原発との訣別をまさに出発点であり、大前提でなければなりません。(略)：。

4月13日(土) 18:15開場、18:30開始

講演会・「3・11」2年 復興と除染の現実

(<http://ameblo.jp/kkmk-blog/entry-11470349967.html>)

講師：小澤祥司さん (環境ジャーナリスト)

会場：文京シビックセンター5階会議室C (JR後楽園)

参加費：800円(会員500円) / 主催：国連・憲法問題研究会 (TEL・FAX 03-6273-7233)

4月18日(木) 18:30~20:30 【大地を守る会の放射能連続講座Ⅱ・第2回】=改めて、内部被ばく

問題を考える～未来のために正しい知識を～

(http://www.daichi.or.jp/info/event/2013/0304_4107.html)

講師：児玉龍彦さん (東京大学先端科学技術研究センター教授) / 会場：日比谷図書文化館コンベンションホール (千代田線・日比谷線・丸ノ内線霞ヶ関駅徒歩5分) / 参加費：会員 無料・非会員 500円 / 定員：200名 / 受付・Tel : 03-3402-8841 (4月5日締め切りです)

ミニミニ小冊子『7月の参議院選挙を考えよう』(A5判・8ページ)をご利用下さい！

夏の参議院選挙を何とかしなければ！選挙での争点を皆でしっかり考えたい、と願って、《Q&A》形式の小冊子を作りました。どうか、ご一読下さい。周囲の方々にも広めて下さい。冊子のご注文は《Tel・Fax : 042-725-1898》までご連絡ください。(有志のカンパで進めており、冊子は無料です。)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。